

領域5【肝細胞がん、膵臓がん】などの肝臓・胆のう・膵臓のがん

2025/4/11現在

治験依頼者	対象疾患名	公開年月日	臨床試験ID	治験名	治験のフェーズ	治験成分記号（治験薬一般名）	研究・治験の目的	実施状況
大鵬薬品工業株式会社	転移性膵管腺癌（mPDAC）	2024年11月14日	JRCT2061240084	化学療法歴のない遠隔転移を有する膵管腺癌患者を対象に quemliclustat+化学療法とプラセボ+化学療法を比較する。ランダム化、プラセボ対照、二重盲検、多施設共同、第3相試験	3	クエムリクスタット(Quemliclustat)	ランダム割付けしたすべての被験者を対象に、 quemliclustat+nab-パクリタキセル+ゲムシタピンの全生存期間（OS）をプラセボ+nab-パクリタキセル+ゲムシタピンと比較する。	公開中
アステラス製薬株式会社	胃腺癌、食道胃接合部腺癌、膵腺癌	2022年3月4日	JRCT2031210644	胃がん又は膵がんを有する成人患者さんにおけるASP2138の治験	1	ASP2138	本試験ではASP2138の安全性及び忍容性の評価及び最大耐量及び/又は第2 相試験の推奨用量投与レジメンを決定する。また、ASP2138の薬物動態及び抗腫瘍活性の評価に加え、ASP2138投与に関連したクローディン（CLDN）18.2及びプログラム細胞死リガンド1（PD-L1）腫瘍発現の変化を評価する。	公開中
アステラス製薬株式会社	局所進行性又は転移性固形がん	2022年12月23日	JRCT2031220527	成人の進行性固形がんの患者さんを対象としたASP1570の治験	1-2	ASP1570、ベムプロリズマブ（遺伝子組み換え）/Pembrolizumab (Genetical recombination)	この治験は、成人の進行性固形がんの患者さんを対象にしています。この治験に参加される患者さんのがんの細胞は、もともとあった部位から外側へ成長していたり、からだの他の部分へ広がっていたり、標準治療を受けた後にがんが進行している、あるいは標準治療を受けることができない状態になっています。この治験からは、進行性固形がんの患者さんのための新しい治療法になる可能性があるASP1570に関するより多くの情報を得ることができます。	公開中
アステラス製薬株式会社	固形がん	2023年3月27日	JRCT2031220738	治療歴のある成人の固形がん患者さんを対象としたASP3082の試験	1	ASP3082、セツキシマブ（遺伝子組み換え）(Cetuximab (genetical recombination))	この治験に参加できるのは、KRAS遺伝子に変化が起こった（G12D変異）局所進行性又は転移性の成人の固形がん患者さんです。転移性とはがんが身体他の部分に広がっていることを意味します。この治験に参加できる患者さんは、現在利用できるすべての標準療法を既に受けたことがある、又はそれらの治療法を受けることを希望されていない方となります。この治験の主な目的は2つあります。1つ目は、さまざまな用量のASP3082を単独又は一般的な抗がん剤のセツキシマブと一緒に投与した後に、特定の固形がん患者さんになんらかの医学的に好ましくない反応が起こるかどうかを確認することです。大腸がん患者さんのみASP3082とセツキシマブの併用投与を受けます。2つ目の目的は、将来の治験でASP3082単独又はセツキシマブと一緒に投与する場合の適切な用量を見つけることです。	公開中
アストラゼネカ株式会社	乳癌、胆管癌、卵巣癌、子宮内膜癌	2022年1月28日	JRCT2031210585	進行又は転移性固形がん患者を対象に、AZD8205 の安全性、忍容性、薬物動態、薬力学、及び予備的な抗腫瘍活性を評価する第1相/前期第2相多施設共同非盲検マスタープロトコル	1-2	AZD8205	進行又は転移性固形がんに対する治療法候補としての新規化合物AZD8205の研究	公開中
アストラゼネカ株式会社	胃癌 食道胃接合部癌 膵臓線癌 食道線癌	2023年7月1日	JRCT2031230200	進行又は転移性固形がんの成人患者を対象としたAZD5863 の第I/II 相試験	1-2	AZD5863	Treatment	公開中
アストラゼネカ株式会社	肝細胞癌、胆道癌	2023年7月27日	JRCT2031230260	進行肝胆道癌患者を対象として新規免疫調節薬の単独療法及び抗がん剤との併用療法を評価する試験のマスタープロトコル (GEMINI-Hepatobiliary)	2	MEDI5752、AZD2936	Treatment	公開中
アムジェン株式会社	固形癌	2022年8月31日	JRCT2031220301	FGFR2bを過剰発現している固形癌患者を対象とした bemarituzumab単剤療法の安全性及び有効性を評価する第Ib/II相多施設共同非盲検バスク試験 (FORTITUDE-301)	1-2	Bemarituzumab	本試験の主要目的はbemarituzumabの安全性及び忍容性を観察し、予備的な抗腫瘍効果を評価することである。	公開中
インサイト・バイオサイエンス・ジャパン合同会社	固形癌	2022年5月25日	JRCT2031220091	特定の進行固形癌患者を対象としたINCB123667単剤療法の第1相、非盲検、多施設共同試験	1	INCB0123667	治療 Treatment	公開中
イーザイ株式会社	転移性又は切除不能の悪性黒色腫、転移性又は切除不能の肝細胞癌、転移性又は切除不能の大腸癌	2021年11月1日	JRCT2031210405	前治療歴のある特定の固形がん患者を対象としたE7386とベムプロリズマブの併用に関する試験	1-2	E7386	治療	公開中
イーザイ株式会社	肝細胞癌、固形がん、大腸癌、子宮体癌	2019年7月16日	JRCT2080224780	固形がん患者を対象としたE7386 と他の抗がん剤との併用療法の非盲検第1b 相試験	1	E7386、Lenvatinib	E7386 と他の抗がん剤との併用療法における安全性及び忍容性を評価し、次相の推奨用量（RP2D）を決定する	公開中
塩野義製薬株式会社	局所進行又は転移性固形がん	2021年11月12日	JRCT2031210426	局所進行又は転移性固形がん患者を対象としたS531011の単独療法及び免疫チェックポイント阻害薬との併用療法による第1b/2相多施設共同非盲検試験	1b/2	S-531011	本試験は第1b相及び2で構成されています。本試験の主な目的は以下のとおりです。 - 第1b相：S-531011を単独またはベムプロリズマブと併用で投与したときの副作用（安全性）と忍容性（副作用にどの程度耐えられるか）を評価し、安全に投与できる最大あるいは最適な用量を調べることで。 - 2：S-531011を単独またはベムプロリズマブと併用で投与したときの効果（有効性）と副作用（安全性）を評価することです。 本試験では、局所進行または転移性の固形がん（非小細胞肺癌を含みます）と診断された方で、標準治療がない、あるいは標準治療に耐えられないまたは何らかの理由で標準治療を希望されない等の条件を満たす方を対象としています。 ただし他の条件も多数あり、本試験に参加していただけるか否かは専門家による医学的判断が必要となります。	公開中
大鵬薬品工業株式会社	FGFR2遺伝子融合又は再構成を伴う胆管癌	2023年4月21日	JRCT2051230018	FGFR2遺伝子融合又は再構成を伴う胆管がん患者を対象としたフチバチニブの試験	2	フチバチニブ	固形がんの治療効果判定のための新ガイドラインVersion 1.1（RECIST 1.1）に基づく盲検下独立中央判定（BICR）による全奏効率（ORR）	公開中
第一三共株式会社	局所進行、転移性、又は切除不能な固形癌	2023年7月15日	JRCT2031230233	進行固形癌患者を対象としたDS-3939aの第I/II相非盲検多施設共同First-in-Human試験	1-2	DS-3939a	DS-3939aの安全性、忍容性、薬物動態（pharmacokinetics: PK）、及び予備的な有効性を評価することを目的とする。	公開中
日本イーライリリー株式会社	非小細胞肺癌、大腸新生物、子宮内膜新生物、卵巣新生物、膵臓新生物	2021年8月20日	JRCT2031210265	KRAS G12C 変異を有する進行性の固形がん患者を対象としたLY3537982 の第1a/1b 相試験	1	LY3537982	本試験の目的は、特定の遺伝子変異（KRAS G12C）を有するがん患者において、治療薬LY3537982が安全かつ有効であるかどうかを調べることで。患者さんは、抗がん剤治療を受けていない特定のグループを除き、すでに標準治療を受けているか、標準治療に不耐性となった方が対象となります。この治験は最長で約4年間行われます。	公開中
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	進行固形癌	2021年6月28日	JRCT2031210165	HER2異常を有する進行又は転移性固形癌患者を対象としたBI 1810631単剤療法の非盲検第1相用量漸増、用量確認及び拡大試験	1	BI1810631	第Ia相パート -HER2異常を有する進行及び/又は転移性固形癌患者で、BI 1810631単剤療法（1日2回 [BID] 又は1日1回 [QD] 経口投与）の漸増用量の安全性、忍容性、及び薬物動態（PK）を評価する。 -検討する各投与スケジュールで経口投与したときのBI 1810631単剤療法のMTD及び/又は第II相試験推奨用量（RP2D）を決定する。 -BI 1810631によって引き起こされる腫瘍の薬力学的変化を評価する。 第Ib相 -HER2エクソン20挿入変異陽性の進行/転移性非小細胞肺癌（NSCLC）患者で、BI 1810631のRP2Dの安全性、忍容性、及びPKをさらに評価する。 -BI 1810631の有効性の予備的評価を実施する。	公開中
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	進行、切除不能又は転移性固形癌	2023年1月27日	JRCT2031220591	各種進行癌（固形癌）患者を対象に、様々な用量のBI 1703880とezabenlimabの併用投与時の忍容性を検討する試験	1	BI 1703880、Ezabenlimab	本試験の主目的は、成人の進行固形癌患者を対象に、固定用量のezabenlimab（BI 754091）併用下でBI 1703880の用量を漸増したときの用量—毒性曲線を明らかにし、今後の放射線療法又は化学療法との併用下で実施する治験における適切な用量を選択することである。	公開中

領域5【肝細胞がん、膵臓がん】などの肝臓・胆のう・膵臓のがん

2025/4/11現在

治験依頼者	対象疾患名	公開年月日	臨床試験ID	治験名	治験のフェーズ	治験成分記号（治験薬一般名）	研究・治験の目的	実施状況
アストラゼネカ株式会社	胆道癌	2023年12月13日	JRCT2031230509	胆道癌根治切除術後の補助療法としてのrilvegostomig+化学療法を検討する第III相、国際多施設共同、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照試験（ARTEMIDE-Biliary01）	3	AZD2936	Treatment	公開中
アヴィ合同会社	肝細胞癌、膵管腺癌、胆道癌、食道扁平上皮癌、乳癌、頭頸部扁平上皮癌	2023年12月25日	JRCT2031230534	特定の進行性固形癌を対象とした ABBV-400 の有効性および安全性を評価する第 I 相非盲検試験[M24-427]	1	ABBV-400	本治験の目的は、進行性固形癌の治療のために成人患者にABBV-400を投与したときの有害事象と疾患活動性の変化を評価することである。	公開中
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	本治験の被験者は、アジアの実施医療機関から参加する、確立された治療が無効である又はその適応ではない、特定のB7-H6陽性進行癌（胃癌【GC】、大腸癌【CRC】、膵管腺癌【PDAC】、肝細胞癌【HCC】）	2024年1月26日	JRCT2031230596	B7-H6を発現する悪性固形癌のアジア人患者を対象にBI 765049単剤及びBI 765049とezablenlimabの併用を反復点滴静注する第I相国際多施設共同非ランダム化非盲検用量漸増試験及び拡大試験	1	BI 765049, Ezablenlimab (BI 754091)	本治験では、アジア人患者集団を対象に、BI 765049単剤投与及びBI 765049とezablenlimabの併用投与での安全性及び忍容性を評価する。	公開中
小野薬品工業株式会社	遠隔転移を有する膵がん	2023年11月3日	JRCT2031230429	ONO-7475-04：遠隔転移を有する膵がん患者を対象に、一次治療としてONO-7475、ONO-4538及び標準治療であるゲムシタビン及びナブパクリタキセル（GnP）療法を併用投与したときの忍容性及び安全性、並びにONO-7475及びGnP療法を併用投与したときの安全性を検討する第 I 相試験	1	ONO-7475、ONO-4538（Nivolumab）、ゲムシタビン塩酸塩、パクリタキセル	遠隔転移を有する膵がん患者を対象に、一次治療としてONO-7475、ONO-4538 及び標準治療であるゲムシタビン及びナブパクリタキセル（GnP）療法を併用投与したときの忍容性及び安全性、並びにONO-7475 及びGnP 療法を併用投与したときの安全性を検討する	公開中
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	固形癌	2024年9月25日	JRCT2031240349	Beamion PANTUMOR-1：選択されたHER2 変異又は過剰発現/増幅を有する固形癌の治療におけるzongertinib（BI 1810631）経口投与の有効性及び安全性を評価する第II相多施設共同多コホート非盲検試験	2	ゾンゲルチニブ（Zongertinib、BI 1810631）	本治験の主要目的は、様々な固形癌に対するzongertinib 単剤療法の抗腫瘍効果を評価することである。副次目的は、zongertinib の有効性、安全性、忍容性及びベネフィット・リスクプロファイル並びに患者報告アウトカム（PRO）を評価することである。	公開中
アストラゼネカ株式会社	胆道癌	2024年7月23日	JRCT2031240225	DESTINY-Biliary Tract Cancer-01：局所進行又は転移性HER2発現胆道癌の一次治療として、トラスツマブ デルクステカン（T-DXd） + rilvegostomigと標準治療のゲムシタビン + シスプラチン + デュルバルマブを比較する第 III相試験	3	リルベグストミグ（Rilvegostomig）、DS-8201a; T-DXd、ゲムシタビン（Gemcitabine）、シスプラチン（Cisplatin）、デュルバルマブ（Durvalumab）	Treatment	公開中
メルクバイオファーマ株式会社	進行性固形癌	2024年8月6日	JRCT2031240255	進行性固形がん患者を対象としたPARP1阻害剤M9466単剤およびATR阻害剤Tuvusertib の併用療法の安全性、忍容性、薬物動態学的/薬力学的プロファイルの評価する非盲検多施設共同第 1 相試験	1	M9466	進行性固形腫瘍患者を対象に、M9466を単剤療法として、又はTuvusertibとの併用療法として使用したときの安全性、忍容性、薬物動態、薬力学、及び予備的な臨床活性を評価すること。	公開中
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	転移性膵管腺癌	2024年8月30日	JRCT2031240308	選択されていない転移性膵管腺癌（mPDAC）患者又は術後補助療法後に再発したPDAC患者を対象として、BI 765883を単剤又はゲムシタビン及びnab-パクリタキセルと併用して投与する、ヒト初回投与、オープンラベル、第Ia/Ib相、多施設共同/多地域、用量漸増試験	1	BI 765883、パクリタキセル（アルブミン懸濁型）、ゲムシタビン塩酸塩	BI 765883単剤療法及び、ゲムシタビンとnab-パクリタキセルと併用したときの安全性、忍容性及びMTDを評価する。	公開中
アストラゼネカ株式会社	以下の進行性固形がん患者 ・非小細胞肺癌 ・膵管腺癌 ・結腸・直腸癌	2024年12月13日	JRCT2031240552	KRAS G12D 変異陽性がん患者を対象としてAZD0022 の単剤療法及び抗がん剤との併用療法の安全性、忍容性、薬物動態及び予備的な有効性を評価する第I/IIa 相非盲検多施設共同試験（ALAFOSS-01）	1-2	AZD0022	Treatment	公開中
日本セルヴィエ株式会社	進行性/転移性MTAP欠失固形癌患者	2024年12月16日	JRCT2031240560	成人の進行性/転移性MTAP ホモ接合性欠失固形癌患者を対象としたS095035（MAT2A 阻害薬）の第1相、非盲検、多施設共同臨床試験	1-2	S095035	進行性/転移性メチルチオアデニンホスホリラーゼ（MTAP）ホモ接合性欠失固形癌患者におけるS095035の安全性及び忍容性を評価し、推奨用量（RD）及び/又は最大耐量（MTD）を特定する。	公開中
アムジェン株式会社	膵癌	2024年10月7日	JRCT2031240376	ホモ接合体MTAP欠損を有する進行性消化管癌、胆道癌又は膵癌患者を対象としてAMG 193を他の治療法と併用したときの安全性、忍容性、薬物動態及び有効性を評価する第1b相試験-マスタープロトコル 局所進行又は転移性MTAPホモ接合性欠損膵管腺癌（PDAC）患者を対象としたAMG 193のmFOLFIRINOXとの併用投与時又はゲムシタビン及びnab-パクリタキセルとの併用投与時の安全性、忍容性、薬物動態及び有効性を評価する第1b相試験（サブプロトコルB）	1	AMG 193	本試験は、成人のメチルチオアデニンホスホリラーゼ（MTAP）遺伝子欠損転移性または局所進行膵癌患者を対象に、MTAと共同でPRMT5阻害薬であるAMG 193と他療法との併用投与における最大耐用量（MTD）又は推奨併用量を検討することを目的としている。また、成人のMTAP遺伝子欠失転移性又は局所進行膵癌患者を対象に、AMG 193と他療法との併用投与における安全性プロファイルを検討することを目的としている。	公開中
プリストル・マイヤーズスクイブ株式会社	子宮頸癌、胃/胃食道接合部腺癌、マイクロサテライト安定性結腸直腸癌、非小細胞肺癌、頭頸部扁平上皮癌、腎細胞癌、尿路上皮癌、膵腺癌、悪性黒色腫、卵巣新生物、リプルネグティブ乳癌	2024年7月24日	JRCT2031240229	進行性固形癌患者を対象としたBMS-986340の単剤療法及びニボルマブ又はドセタキセルとの併用療法を比較する第1/2相試験	1-2	BMS- 986340	BMS-986340単剤療法及びニボルマブ又はドセタキセルとの併用療法において、BMS-986340の安全性、忍容性を評価し、最大耐量、最大投与量及び第2相試験の推奨用量を決定することを目的とする。うち、日本人においては、日本人安全性コホートとして単剤療法及びニボルマブとの併用療法の2パートで構成され、日本人治験参加者の安全性、忍容性、抗腫瘍活性、PK及び薬力学を確認する。	公開中
第一三共株式会社	子宮内膜癌、頭頸部扁平上皮癌、膵管腺癌、大腸癌、肝細胞癌、食道腺癌/食道胃接合部腺癌/胃腺癌、非扁平上皮非小細胞肺癌、尿路上皮癌	2024年4月5日	JRCT2031240016	再発又は転移性固形癌患者を対象とした、イフィナタマブ デルクステカン（I-DXd）の有効性及び安全性を評価する、がん種横断的、非盲検、第II相試験	2	イフィナタマブ デルクステカン（I-DXd）	固形がんの治療効果判定のための新ガイドラインversion 1.1（RECIST v1.1）に基づく標的病変を有する被験者を対象としてI-DXdの有効性を奏効率（ORR）に基づき評価する	公開中
アストラゼネカ株式会社	胃癌、食道接合部癌	2024年1月16日	JRCT2031230569	CLDN18.2 陽性の進行性固形がん患者を対象に、AZD0901 単剤療法又は抗がん剤との併用療法の安全性、忍容性、有効性、薬物動態、及び免疫原性を評価する第II相、非盲検、多施設共同試験	2	AZD0901	Treatment	公開中
プリストル・マイヤーズスクイブ株式会社	肝細胞癌	2022年7月14日	JRCT2031220213	未治療の進行/転移を有する肝細胞がん患者を対象に Relatlimab、ニボルマブ及びベバシズマブの併用療法の安全性を確認する二重盲検プラセボ対照ランダム化第1/2 相試験	1-2	Relatlimab、ニボルマブ、ベバシズマブ	全身療法未治療の進行/転移を有するHCCの被験者において、Relatlimab、ニボルマブ及びベバシズマブの3 剤併用療法の有効性と安全性を評価する	終了
アストラゼネカ株式会社	肝細胞癌	2022年5月10日	JRCT2011220004	局所肝細胞癌患者を対象として、TACE及びデュルバルマブとトレメリムマブ+レニバチニブの併用療法を、TACE 単剤療法との比較により評価する第III 相ランダム化非盲検治験依頼者盲検多施設共同試験	3	デュルバルマブ/トレメリムマブ	Treatment	終了

領域5【肝細胞がん、膵臓がん】などの肝臓・胆のう・膵臓のがん

2025/4/11現在

治験依頼者	対象疾患名	公開年月日	臨床試験ID	治験名	治験のフェーズ	治験成分記号（治験薬一般名）	研究・治験の目的	実施状況
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	局所進行／転移性MDM2増幅TP53野生型胆道腺癌、膵管腺癌又はその他特定の固形腫瘍	2022年12月19日	JRCT2031220405	胆道癌又は膵癌患者に対するBI 907828の有用性を検討する試験	2	BI 907828	本治験では、複数の局所進行／転移性MDM2増幅TP53野生型固形腫瘍患者コホートを対象に、BI 907828単剤投与の有効性、安全性及び忍容性を評価する。	終了
中外製薬株式会社	固形癌	2023年7月13日	JRCT2031230222	局所進行又は転移性固形癌患者を対象として、標準治療の化学療法の併用下又は非併用下でRO7496353とチェックポイント阻害薬の併用療法の安全性、薬物動態及び有効性を検討する第1b相非盲検多施設共同用量拡大試験	1	RO7496353、アテゾリズマブ、カベシタピン、テガフルギメラシル、オテラシルカリウム、ニボルマブ	非小細胞肺癌、胃癌及び膵管腺癌患者を対象として標準治療の化学療法の併用下又は非併用下でRO7496353とチェックポイント阻害薬（アテゾリズマブ又はニボルマブ）の併用療法の安全性及び忍容性を評価する。	終了
MSD株式会社	結腸直腸癌、膵管腺癌、胆道癌	2024年6月21日	JRCT2031240178	消化器癌に対するMK-2870単剤療法又は他の抗がん剤との併用療法の安全性及び有効性を比較する、第 I / II 相試験	1-2	MK-2870、フルオロウラシル、レボホリナート	消化器癌患者に対し、MK-2870単剤療法又は他の抗がん剤との併用療法の安全性、忍容性及び有効性を評価する	終了
日本セルヴィエ株式会社	転移性膵腺癌	2024年3月27日	JRCT2031230733	広がった（転移した）すい臓がんを治療されていない日本人参加者を対象としたイリノテカンリボソーム注射液、オキサリプラチン、5-フルオロウラシル/レボロイコボリンの臨床試験	2	イリノテカン塩酸塩水和物、リボソーム製剤、オキサリプラチン、オキサリプラチン、レボホリナートカルシウム水和物、レボホリナートカルシウム水和物、フルオロウラシル、フルオロウラシル	独立中央判定（ICR）が評価した奏効率（ORR）を指標として、イリノテカンリボソーム注射液とオキサリプラチン及び5-フルオロウラシル（5-FU）/レボロイコボリン（LLV）併用投与の抗腫瘍活性を評価する。	終了
ノバルティスファーマ株式会社	KRAS G12C 変異を有する進行性固形がん、非小細胞肺癌、大腸がん	2021年3月1日	JRCT2031200379	KRAS G12C 変異を有する進行性固形がん患者を対象としたJDQ443の非盲検、多施設共同、用量漸増、第1b/II 相試験	1-2	JDQ443、TNO155、チスレリズマブ	本治験は第1b/II 相非盲検試験である。用量漸増パートでは、進行性固形がん患者を対象として、JDQ443 単剤投与及びJDQ443 と他の治験薬（TNO155 及びチスレリズマブ）の併用投与による安全性及び忍容性を検討する。特定の投与群における最大耐量／推奨用量を決定した後、用量拡大パートでは最大耐量／推奨用量での各投与法の抗腫瘍活性を評価するとともに、安全性、忍容性、及びPK / PD をさらに評価する。	終了
インサイト・バイオサイエンス・ジャパン合同会社	進行固形癌	2023年2月27日	JRCT2031220663	特定の進行固形癌患者を対象としたINCB099280の安全性、忍容性、薬物動態及び薬力学を検討する第1相試験	1	INCB099280	特定の固形癌を有する患者を対象にINCB099280の安全性、忍容性、薬物動態、薬力学及び早期臨床での有効性を評価する。 The purpose of this study is to evaluate the safety and tolerability, pharmacokinetics, pharmacodynamics, and early clinical activity of INCB099280 in participants with select solid tumors.	終了
アヅヴィ合同会社	肝細胞癌	2023年6月16日	JRCT2031230144	肝細胞癌（HCC）を有する成人患者において、静脈内投与のBudigalimabを併用したときの静脈内投与のLivmoniplimabの有有害事象及び疾患活動性の変化を評価する試験 [M24-147]	2	ABBV-151 (livmoniplimab)、ABBV-181 (budigalimab)、レンバチニブ、ソラフェニブ	本試験の目的は、budigalimabと併用した時のlivmoniplimabの至適用量、有害事象、及び有効性を評価することである。	終了
中外製薬株式会社	肝細胞癌	2023年9月4日	JRCT2021230021	未治療の局所進行又は転移性肝細胞癌患者を対象とした、アテゾリズマブ + ベバシズマブ + チラゴルマブ併用投与及びアテゾリズマブ + ベバシズマブ + プラセボ併用投与を検討するランダム化、二重盲検、プラセボ対照第III相臨床試験	3	チラゴルマブ、アテゾリズマブ、ベバシズマブ	切除不能な局所進行又は転移性肝細胞癌（HCC）患者を対象として、一次治療として抗TIGITモノクローナル抗体であるチラゴルマブをアテゾリズマブ及びベバシズマブと併用した場合の有効性及び安全性を評価することを目的としている。 適格患者を以下の治療レジメンのいずれかに1:1の比で割り付ける： - A群：チラゴルマブ + アテゾリズマブ + ベバシズマブ - B群：プラセボ + アテゾリズマブ + ベバシズマブ	終了
中外製薬株式会社	2L肝細胞癌	2021年4月21日	JRCT2031210045	アテゾリズマブ及びベバシズマブによる前治療歴のある肝細胞癌においてレンバチニブ又はソラフェニブ単剤と比較したアテゾリズマブ + レンバチニブ又はソラフェニブの第III 相、非盲検、ランダム化試験	3	アテゾリズマブ、レンバチニブ、ソラフェニブ	本治験は、過去のアテゾリズマブ及びベバシズマブによる全身療法中に進行が認められた局所進行又は転移性HCC 患者を対象に、レンバチニブ又はソラフェニブ単剤と比較した場合のアテゾリズマブ + レンバチニブ又はソラフェニブの有効性及び安全性を評価する第III 相、ランダム化、多施設共同、非盲検、2群試験である。	終了
アステラス製薬株式会社	転移性又は局所進行性固形がん	2022年12月29日	JRCT2031220554	成人の固形がん患者さんを対象としたASP2074の治験	1	ASP2074	ASP2074は固形がんを有する患者さんのための新たな治療薬となる可能性があります。ASP2074が治療薬として利用できるようになる前に、ASP2074が体内でどのように作用するかを理解する必要があります。この情報は、適切な用量を決定することや、この治療が原因となって起こるかもしれない医学的な問題を確認することに役立ちます。この試験に参加できるのは、転移性（がんがからだの他の部分に広がっている）または局所進行性の固形がんを有する患者さんで、実施できるすべての標準療法で治験参加前に治療されており、それ以上標準治療を続けても恩恵がない可能性がある方となります。この試験の主な目的は2つあり、1つ目はASP2074をさまざまな用量で投与した後に固形がん患者さんに何らかの医学的な問題が起こるかどうかを確認することです。2つ目は将来の試験で使用するASP2074の適切な用量を見つけることです。	終了
Bristol-Myers Squibb 株式会社	特定の進行がん	2023年8月18日	JRCT2031230298	進行性の悪性腫瘍を有する患者を対象とした、BMS-986406 の単剤及び併用療法の第I 相first-in-human 試験	1	BMS-986406	進行がんを有する被験者においてBMS-986406 の単剤療法及びニボルマブ又はニボルマブ + プラチナゲブレット化学療法（PDCT）との併用療法における安全性と忍容性を評価する。	終了
日本セルヴィエ株式会社	胆管がん	2023年8月23日	JRCT2011230033	前治療歴を有するIDH1 変異陽性の切除不能又は転移性胆管癌を有する日本人患者を対象としたイボシデニブ経口投与の第II相、非盲検、多施設共同試験	2	イボシデニブ	イボシデニブの有効性、安全性及び忍容性を評価する/To evaluate the efficacy, the safety and tolerability of ivosidenib	終了
中外製薬株式会社	肝細胞癌	2021年3月1日	JRCT2031200382	ERY974とアテゾリズマブ及びベバシズマブの併用投与による局所進行又は転移性肝細胞癌患者を対象とした第I相臨床試験	1	ERY974、トシズマブ、アテゾリズマブ、ベバシズマブ	局所進行又は転移性の肝細胞癌患者におけるトシズマブ（遺伝子組換え）前投与後、ERY974 とアテゾリズマブ及びベバシズマブ併用投与による用量制限毒性及び最大耐量の決定、及び、安全性、忍容性、薬物動態を検討し、抗腫瘍効果及びバイオマーカを評価する。	終了